

大学番号：私161

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

認可

松本大学 教育学部 学校教育学科

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人松商学園  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ダイガクジ ム キョクチョウ シバタ コウイチ  
大学事務局長 柴田 幸一

電話番号 0263-48-7200

（夜間） 090-3093-5169

F A X 0263-48-7290

e-mail koichi.shibata@t.matsu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

教育学部

<学校教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	33



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 松商学園

## (2) 大学名

松本大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒390-1295  
長野県松本市新村2095番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カタクラ ヤスユキ) 片倉 康行 (平成27年6月1日)	(マルヤマ リツオ) 丸山 律夫 (平成30年6月1日)	任期満了により交代 (元)
学長	(スミヨシ ヒロユキ) 住吉 廣行 (平成28年4月1日)		
学部長	(カワシマ カズオ) 川島 一夫 (平成29年4月1日)		
学科長等	(キシダ ユキヒロ) 岸田 幸弘 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 学校教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	80	-	80	-	80	-	-	-	0.96倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	278	(-)	189	(-)	273	(-)	(-)				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	267	(-)	185	(-)	269	(-)	(-)				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	144	(-)	135	(-)	192	(-)	(-)				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	65	(-)	72	(-)	95	(-)	(-)				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.81	-	0.90	-	1.18	-	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	65 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	72 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	95 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
2年次	/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	59 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	72 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
3年次	/		/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	57 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
4年次	/		/		/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
計	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	65 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	131 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	224 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	65 人	6 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	6 人	— 人	他の教育機関への入学・転学(4名)、経済的困窮(1名)、 就学意欲の低下(1名)
平成30年度	131 人	2 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	1 人	— 人	他の教育機関への入学・転学(1名)
			平成30年度	1 人	— 人	他の教育機関への入学・転学(1名)
令和元年度	224 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
合計		8 人		8 人	— 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{65} = \boxed{9.23} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{131} = \boxed{1.52} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{224} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

<教育学部 学校教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
導入科目	地域社会と大学教育	1前	2								1
	知の技法	1後		2		1					
	基礎ゼミナールⅠ	1前	1			9	7	2			
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1			9	7	2			
コモンベ イシツク ス	総合英語Ⅰ	1前	1				1				2
	総合英語Ⅱ	1後		1			1				2
	総合英語Ⅲ	2前		1							1
	総合英語Ⅳ	2後		1							1
	英会話Ⅰ	1前		1							4
	英会話Ⅱ	1後		1							4
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	TOEICⅠ	1前		1							4
	TOEICⅡ	1後		1							4
	TOEICⅢ	2前		1							1
	TOEICⅣ	2後		1							1
	ICTと情報倫理	1前	2								1
	情報処理Ⅰ(WORD)	1前	1								3
情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1後	1								3	
情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	2前		1							2	
情報処理Ⅳ(パワーポイント)	2後		1							2	
情報処理Ⅴ(ホームページ)	3前		1							3	
ヒュー マンベ イシツク ス	こころと体の健康	1後	2								3
	子どもの育ちと教育	1前		2			1				
	心理学概論	1前		2		1					
	哲学	2前		2							1
	生命倫理	2後		2							1
	対人関係の心理学	3前		2		1					
	生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ)	1前	1				1				2
	生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1後	1				1				2
	スポーツとノーマライゼーション	2後		1		1					
	日本国憲法	1後	2								1
	新聞に見る社会の動き	2前		2							1
	日本地理	2後		2							1
	近代日本の歴史	3前		2							1
	経済入門	1後		2							1
	国際経済	2後		2							1
	地域の歴史	1前		2							1
地域と文学	1後		2			1					
地域の伝統行事	2前		2							1	
地域社会と学校教育	3前		2			1					
地域経済史	3前		2							1	
地域課題研究	1前・後		2			1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
導入科目	地域社会と大学教育	1前	2								1
	知の技法	1後		2		1					
	基礎ゼミナールⅠ	1前	1			9	7	5			
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1			9	7	5			
コモンベ イシツク ス	総合英語Ⅰ	1前	1				1				2
	総合英語Ⅱ	1後		1			1				2
	総合英語Ⅲ	2前		1							1
	総合英語Ⅳ	2後		1							1
	英会話Ⅰ	1前		1							4
	英会話Ⅱ	1後		1							4
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	TOEICⅠ	1前		1							4
	TOEICⅡ	1後		1							4
	TOEICⅢ	2前		1							1
	TOEICⅣ	2後		1							1
	ICTと情報倫理	1前	2								1
	情報処理Ⅰ(WORD)	1前	1								3
情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1後	1								3	
情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	2前		1							2	
情報処理Ⅳ(パワーポイント)	2後		1							2	
情報処理Ⅴ(ホームページ)	3前		1							3	
ヒュー マンベ イシツク ス	こころと体の健康	1後	2								3
	子どもの育ちと教育	1前		2			1	1			
	心理学概論	1前		2			1				
	哲学	2前		2							1
	生命倫理	2後		2							1
	対人関係の心理学	3前		2		1					
	生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ)	1前	1				1				2
	生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1後	1				1				2
	スポーツとノーマライゼーション	2後		1		1					
	日本国憲法	1後	2								1
	新聞に見る社会の動き	2前		2							1
	日本地理	2後		2							1
	近代日本の歴史	3前		2							1
	経済入門	1後		2							1
	国際経済	2後		2							1
	地域の歴史	1前		2							1
地域と文学	1後		2			1					
地域の伝統行事	2前		2							1	
地域社会と学校教育	3前		2			1					
地域経済史	3前		2							1	
地域課題研究	1前・後		2			1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ヒューマンベシックス	日本文化	1前	2								1
	異文化理解	1前	2			1					
	比較文化	1後	2								1
	文化人類学	3前	2								1
	音楽の歴史と鑑賞	3前	2				1				
	海外研修Ⅰ	1,2,4前	2								1
	海外研修Ⅱ	1,2,4前	2								1
	海外事情Ⅰ	1,2,4前	2								1
	海外事情Ⅱ	1,2,4前	2								1
	数学の基礎	1前	2								1
	生物学の基礎	1前	2								1
	化学の基礎	1後	2								1
	基礎統計学	2前	2								1
	地球環境と人間生活	2後	2								1
地域環境と生態	3前	2								1	
ごみ処理と循環型社会	3後	2								1	
環境社会学	3後	2								1	
キャリア形成	キャリア入門	1前	2								1
	キャリアデザインⅠ	3前	1								1
	キャリアデザインⅡ	3後	1								1
	ワークインフォメーション	4後	2								1
	学校ボランティア活動	1後	1			2	1				
小計(65科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専門基礎科目	教職論(初等)	1前	2			1					
	教育基礎論(初等)	1後	2				1				
	教育史(初等)	3前	2				1				
	教育心理学(初等)	2前	2			1					
	発達心理学(初等)	3前	2			1					
	教育制度論(初等)	2前	2			1					
	学校経営(初等)	3後	2			1					
	教育課程総論(初等)	2後	2			1					
	初等国語科指導法	1後	2				1				
	初等社会科指導法	2後	2				1				
	初等算数科指導法	2前	2			2					
	初等理科指導法	2後	2			1	1				
	初等生活科指導法	2前	2				2				
	初等英語科指導法	3後	2				1				
	初等音楽科指導法	2後	2								1
	初等図画工作科指導法	2後	2								1
	初等家庭科指導法	2前	2								1
	初等体育科指導法	2前	2				1				
	道徳教育指導論(初等)	2前	2				1				
	特別活動指導論(初等)	2後	2				1				
	教育方法論(初等)	1前	2				1				
	生徒指導・進路指導(初等)	2後	2				2				
	教育相談(初等)	2後	2				2				
国語科概論	1前	2				1					
社会科概論	2前	2				1					
算数科概論	1前	2			1						
自然科学概論	2前	2				1					
生活科概論	1後	2				2					
英語科概論	2前	2				1					
音楽(歌唱)	1前	1					1				
音楽(器楽)	1後	1						1			
基礎造形Ⅰ	1後	1								1	
基礎造形Ⅱ	1後	1								1	
家庭科概論	1前	2								1	
体育Ⅰ	1前	1				1					
体育Ⅱ	2前	1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ヒューマンベシックス	日本文化	1前	2									1
	異文化理解	1前	2					1				
	比較文化	1後	2									1
	文化人類学	3前	2									1
	音楽の歴史と鑑賞	3前	2						1			
	海外研修Ⅰ	1,2,4前	2									1
	海外研修Ⅱ	1,2,4前	2									1
	海外事情Ⅰ	1,2,4前	2									1
	海外事情Ⅱ	1,2,4前	2									1
	数学の基礎	1前	2									1
	生物学の基礎	1前	2									1
	化学の基礎	1後	2									1
	基礎統計学	2前	2									1
	地球環境と人間生活	2後	2									1
地域環境と生態	3前	2									1	
ごみ処理と循環型社会	3後	2									1	
環境社会学	3後	2									1	
キャリア形成	キャリア入門	1前	2									1
	キャリアデザインⅠ	3前	1									1
	キャリアデザインⅡ	3後	1									1
	ワークインフォメーション	4後	2									1
	学校ボランティア活動	1後	1						1	3		
小計(65科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専門基礎科目	教職論(初中等)	1前	2				1					
	教育基礎論(初中等)	1後	2					1	1			1
	教育史(初中等)	3前	2						1	1		
	教育心理学(初中等)	2前	2				1					
	発達心理学(初中等)	3前	2				1					
	教育制度論(初中等)	3前	2					1				1
	学校経営(初中等)	3前	2					1				1
	教育課程総論(初中等)	2後	2					1				2
	初等国語科指導法	1後	2						1			
	初等社会科指導法	2後	2						1			
	初等算数科指導法	2前	2					1		1		
	初等理科指導法	2後	2					1				
	初等生活科指導法	2前	2						2			
	初等英語科指導法	2後	2						1			
	初等音楽科指導法	2後	2									1
	初等図画工作科指導法	3前	2									1
	初等家庭科指導法	3前	2									1
	初等体育科指導法	2前	2						1			
	道徳教育指導論(初中等)	2前	2						1			
	特別活動指導論(初中等)	2後	2						1			
	総合的な学習の時間の指導法(初中等)	3前	2						2			
	教育方法論(初中等)	1前	2						1			2
	生徒指導・進路指導(初中等)	2後	2						2			
教育相談(初中等)	3後	2						2				
国語科概論	1前	2						1				
社会科概論	2前	2						1				
算数科概論	1前	2						1				
自然科学概論	2前	2						1				
生活科概論	1後	2						2				
英語科概論	2前	2						1				
音楽(歌唱)	1前	1							1			
音楽(器楽)	1後	1								1		
基礎造形Ⅰ	1後	1									1	
基礎造形Ⅱ	1後	1									1	
家庭科概論	2前	2									1	
体育Ⅰ	1前	1						1				
体育Ⅱ	2前	1						1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用・発展科目	国語科教材研究	2・3前	1			1					
	社会科教材研究	2・3後	1			1					
	算数科教材研究	2・3後	1		1						
	理科教材研究	2・3後	1			1					
	英語科教材研究	3・4前	1			1					
	体育科教材研究	2・3後	1			1					
	国語科教材演習	3・4前	1			1					
	算数科教材演習	3・4後	1		1						
	授業法の基礎	2前	2			1					
	教育制度研究	3前	2			1					
	教育史研究	3後	2			1					
	教職教養特別演習	3後	1			1	1				
	特別支援教育入門	1後	2			2		1			
	子どもの学びをつくる	3前	2			1					
	義務教育の未来を考える	3後	2			1					
	学校心理学	3前	2			1					
	認知心理学	3後	2			1					
	臨床心理学(発達障害入門)	3後	2			1					
	カウンセリング入門	3後	2			1					
	介護等体験入門	1後	1				1	1			
地域活動実習	2前	1				2					
学校インターンシップ	2後	1				3					
教育実践特講	2後	2			1	1					
地域学校教育活動	3前・後	1				2	1				
初等教育実習事前・事後指導	2後~3後	1			1	1					
初等教育実習	3通	4				2					
教職実践演習(初等)	4後	2			2	1					
特別支援教育総論	2前	2			1		1				
知的障害児の心理・生理・病理	3前	2			1					1	
肢体不自由児の心理・生理・病理	3後	2			1					1	
病弱児の心理・生理・病理	3後	2			1					2	
知的障害児の教育課程と指導法	3前	2			1					1	
肢体不自由児の教育課程と指導法	3後	2			1					1	
病弱児の教育課程と指導法	3後	2			1					2	
視覚障害児教育総論	3後	2								1	
聴覚障害児教育総論	3前	2								1	
発達障害児・者の支援と教育	3前	2			2		1			1	
障害児臨床支援演習Ⅰ	2前	2			1		1			1	
障害児臨床支援演習Ⅱ	3前	2			1		1			1	
特別支援学校教育実習	4通	3			2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用・発展科目	国語科教材研究	2・3前	1			1					
	社会科教材研究	2・3後	1			1					
	算数科教材研究	2・3後	1			1		1			
	理科教材研究	2・3後	1			1					
	英語科教材研究	3・4前	1			1					
	体育科教材研究	2・3後	1			1					
	国語科教材演習	3・4前	1			1					
	算数科教材演習	3・4後	1		1						
	授業法の基礎	2前	2			1					
	教育制度研究	3後	2			1					1
	教育史研究	3後	2			1		1			
	教職教養特別演習	3後	1			1	1				
	特別支援教育入門	1後	2			2		1			
	子どもの学びをつくる	3前	2			1					
	義務教育の未来を考える	3後	2			1					1
	学校心理学	3前	2			1					
	認知心理学	3後	2			1					
	臨床心理学(発達障害入門)	3後	2			1					
	カウンセリング入門	3後	2			1					
	介護等体験入門	2前	1				1	2			
地域活動実習	2前	1				2					
学校インターンシップ	2後	1				3					
教育実践特講	2後	2			1	1					
地域学校教育活動	3前・後	1				1	2				
初等教育実習事前・事後指導	2後~3後	1			1	1					
初等教育実習	3通	4				2					
中等教育実習事前・事後指導	3後~4後	1			1	1	1				
中等教育実習Ⅰ	4通	4			1	1	1				
中等教育実習Ⅱ	4通	2						1			
教職実践演習(初中等)	4後	2			2	1					
特別支援教育総論	2前	2			1		1				
知的障害児の心理・生理・病理	3前	2			1					1	
肢体不自由児の心理・生理・病理	3後	2			1					1	
病弱児の心理・生理・病理	3後	2			1					2	
知的障害児の教育課程と指導法	3前	2			1					1	
肢体不自由児の教育課程と指導法	3後	2			1					1	
病弱児の教育課程と指導法	3後	2			1					2	
視覚障害児教育総論	3後	2								1	
聴覚障害児教育総論	3前	2								1	
発達障害児・者の支援と教育	3前	2			2		1			1	
障害児臨床支援演習Ⅰ	2前	2			1		1			1	
障害児臨床支援演習Ⅱ	3前	2			1		1			1	
特別支援学校教育実習	4通	3			2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目												
	教職入門ゼミナール	2前	1			9	7	2				
	教職研究基礎ゼミナール	2後	1			9	7	2				
	教職研究ゼミナール	3通	2			9	7	2				
	卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	4通	4			9	7	2				
	小計(80科目)	-										
	合計(145科目)	-										
卒業要件及び履修方法												
導入科目、コモンベシックス、ヒューマンベシックス、キャリア形成の分野から必修単位15単位を含む32単位以上、専門基礎、専門応用・発展科目から必修科目64単位を含む82単位以上、さらにすべての分野から10単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目	英語学概論	3前	2							1		
	英語音声学概論	2後	2							1		
	英語史概論	3前	2							1		
	英語発声演習	3後	2							1		
	英文法演習	3後	2							1		
	英米文学概論	3前	2									1
	英米文学演習 I	3後	2									1
	英米文学演習 II	3後	2									1
	Reading I	1前	2							1		1
	Reading II	2前	2							1		1
	Public Speaking	2前	2							1		1
	Writing Skills I	1後	2							1		1
	Writing Skills II	2後	2							1		1
	Discussion & Presentation	3前	2							1		1
	Communicative English I	3前	2							1		1
	Communicative English II	3後	2							1		1
	TOEIC総合演習 I	3前	2									1
	TOEIC総合演習 II	3後	2									1
	TOEIC総合演習 III	4前	2									1
	TOEIC総合演習 IV	4後	2									1
	TOEFL演習 I	2前	2									1
	TOEFL演習 II	2後	2									1
	異文化理解概論	1後	2						1			
	英語圏文化演習 I	3前	2						1			
	英語圏文化演習 II	3後	2						1			
	異文化交流海外研修	2前	2						1			
国際交流演習	2前・後	2							1			
英語科指導法 I	2前	2							1			
英語科指導法 II	2後	2							1			
英語科指導法 III	3前	2							1			
英語科指導法 IV	3後	2							1			
教職入門ゼミナール	2前	1				9	7	5				
教職研究基礎ゼミナール	2後	1				9	7	5				
教職研究ゼミナール	3通	2				9	7	5				
卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	4通	4				9	7	5				
小計(115科目)	-											
合計(180科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
導入科目、コモンベシックス、ヒューマンベシックス、キャリア形成の分野から必修単位15単位を含む32単位以上、専門基礎、専門応用・発展科目から必修科目64単位を含む82単位以上、さらにすべての分野から10単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	地域社会と大学教育	1前	2								1
	知の技法	1後		2		1					
	基礎ゼミナールⅠ	1前	1			9	7	3			
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1			9	7	3			
コモンベシックス	総合英語Ⅰ	1前	1				1				2
	総合英語Ⅱ	1後		1			1				2
	総合英語Ⅲ	2前		1							1
	総合英語Ⅳ	2後		1							1
	英会話Ⅰ	1前		1							4
	英会話Ⅱ	1後		1							4
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	TOEICⅠ	1前		1							4
	TOEICⅡ	1後		1							4
	TOEICⅢ	2前		1							1
	TOEICⅣ	2後		1							1
	ICTと情報倫理	1前	2								1
	情報処理Ⅰ(WORD)	1前	1								3
情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1後	1								3	
情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	2前		1							2	
情報処理Ⅳ(パワーポイント)	2後		1							2	
情報処理Ⅴ(ホームページ)	3前		1							3	
ヒューマンベシックス	こころと体の健康	1後	2								3
	子どもの育ちと教育	1前		2			1				
	心理学概論	1前		2		1					
	哲学	2前		2							1
	生命倫理	2後		2							1
	対人関係の心理学	3前		2		1					
	生涯スポーツⅠ(集团的スポーツ)	1前	1				1				2
	生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1後	1				1				2
	スポーツとノーマライゼーション	2後		1		1					
	日本国憲法	1後	2								1
	新聞に見る社会の動き	2前		2							1
	日本地理	2後		2							1
	近代日本の歴史	3前		2							1
	経済入門	1後		2							1
	国際経済	2後		2							1
	地域の歴史	1前		2							1
	地域と文学	1後		2			1				
	地域の伝統行事	2前		2							1
	地域社会と学校教育	3前		2			1				
	地域経済史	3前		2							1
地域課題研究	1前・後		2			1					
日本文化	1前		2							1	
異文化理解	1前		2			1					
比較文化	1後		2							1	
文化人類学	3前		2							1	
音楽の歴史と鑑賞	3前		2				1				
海外研修Ⅰ	1前・後		2							1	
海外研修Ⅱ	1前・後		2							1	
海外事情Ⅰ	1前・後		2							1	
海外事情Ⅱ	1前・後		2							1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	地域社会と大学教育	1前	2								1
	知の技法	1後		2			1				
	基礎ゼミナールⅠ	1前	1				10	7	5		
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1				10	7	5		
コモンベシックス	総合英語Ⅰ	1前	1				1				2
	総合英語Ⅱ	1後		1			1				2
	総合英語Ⅲ	2前		1							1
	総合英語Ⅳ	2後		1							1
	英会話Ⅰ	1前		1							4
	英会話Ⅱ	1後		1							4
	英会話Ⅲ	2前		1							1
	英会話Ⅳ	2後		1							1
	TOEICⅠ	1前		1							4
	TOEICⅡ	1後		1							4
	TOEICⅢ	2前		1							1
	TOEICⅣ	2後		1							1
	ICTと情報倫理	1前	2								1
	情報処理Ⅰ(WORD)	1前	1								3
情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1後	1								3	
情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	2前		1							2	
情報処理Ⅳ(パワーポイント)	2後		1							2	
情報処理Ⅴ(ホームページ)	3前		1							3	
ヒューマンベシックス	こころと体の健康	1後	2								3
	子どもの育ちと教育	1前		2				1	1		
	心理学概論	1前		2				1			
	哲学	2前		2							1
	生命倫理	2後		2							1
	対人関係の心理学	3前		2				1			
	生涯スポーツⅠ(集团的スポーツ)	1前	1						1		2
	生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1後	1						1		2
	スポーツとノーマライゼーション	2後		1					1		
	日本国憲法	1後	2								1
	新聞に見る社会の動き	2前		2							1
	日本地理	2後		2							1
	近代日本の歴史	3前		2							1
	経済入門	1後		2							1
	国際経済	2後		2							1
	地域の歴史	1前		2							1
	地域と文学	1後		2					1		
	地域の伝統行事	2前		2							1
	地域社会と学校教育	3前		2					1		
	地域経済史	3前		2							1
地域課題研究	1前・後		2						1		
日本文化	1前		2							1	
異文化理解	1前		2					1			
比較文化	1後		2							1	
文化人類学	3前		2							1	
音楽の歴史と鑑賞	3前		2						1		
海外研修Ⅰ	1前・後		2							1	
海外研修Ⅱ	1前・後		2							1	
海外事情Ⅰ	1前・後		2							1	
海外事情Ⅱ	1前・後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ヒューマンベイスンックス	数学の基礎	1前	2								1
	生物学の基礎	1前	2								1
	化学の基礎	1後	2								1
	基礎統計学	2前	2								1
	地球環境と人間生活	2後	2								1
	地域環境と生態	3前	2								1
	ごみ処理と循環型社会	3後	2								1
	環境社会学	3後	2								1
	キャリア入門	1前	2								1
	キャリアデザインⅠ	3前	1								1
キャリアデザインⅡ	3後	1								1	
ワークインフォメーション	4後	2								1	
学校ボランティア活動	1後	1				2	2				
小計(65科目)	-	-									
専門基礎科目	教職論(初等)	1前	2			1					
	教育基礎論(初等)	1後	2				1				1
	教育史(初等)	3前	2				1				
	教育心理学(初等)	2前	2			1					
	発達心理学(初等)	3前	2			1					
	教育制度論(初等)	2前	2			1					
	学校経営(初等)	3後	2			1					
	教育課程総論(初等)	2後	2			1					1
	初等国語科指導法	1後	2				1				
	初等社会科指導法	2後	2				1				
	初等算数科指導法	2前	2			1		1			
	初等理科指導法	2後	2			1					
	初等生活科指導法	2前	2				2				
	初等英語科指導法	3後	2				1				
	初等音楽科指導法	2後	2								1
	初等図画工作科指導法	2後	2								1
	初等家庭科指導法	2前	2								1
	初等体育科指導法	2前	2				1				
	道徳教育指導論(初等)	2前	2				1				
	特別活動指導論(初等)	2後	2			1					
教育方法論(初等)	1前	2				1				2	
生徒指導・進路指導(初等)	2後	2				2					
教育相談(初等)	2後	2				2					
国語科概論	1前	2				1					
社会科概論	2前	2				1					
算数科概論	1前	2			1						
自然科学概論	2前	2				1					
生活科概論	1後	2				2					
英語科概論	2前	2				1					
音楽(歌唱)	1前	1					1				
音楽(器楽)	1後	1						1			
基礎造形Ⅰ	1後	1								1	
基礎造形Ⅱ	1後	1								1	
家庭科概論	2前	2								1	
体育Ⅰ	1前	1				1					
体育Ⅱ	2前	1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ヒューマンベイスンックス	数学の基礎	1前	2									1
	生物学の基礎	1前	2									1
	化学の基礎	1後	2									1
	基礎統計学	2前	2									1
	地球環境と人間生活	2後	2									1
	地域環境と生態	3前	2									1
	ごみ処理と循環型社会	3後	2									1
	環境社会学	3後	2									1
	キャリア入門	1前	2									1
	キャリアデザインⅠ	3前	1									1
キャリアデザインⅡ	3後	1									1	
ワークインフォメーション	4後	2									1	
学校ボランティア活動	1後	1						1	3			
小計(65科目)	-	-										
専門基礎科目	教職論(初等)	1前	2			1						
	教育基礎論(初等)	1後	2					1	1			1
	教育史(初等)	3前	2						1	1		
	教育心理学(初等)	2前	2			1						
	発達心理学(初等)	3前	2			1						
	教育制度論(初等)	3前	2			1						
	学校経営(初等)	3前	2			1						
	教育課程総論(初等)	2後	2			1						1
	初等国語科指導法	1後	2					1				
	初等社会科指導法	2後	2					1				
	初等算数科指導法	2前	2			1			1			
	初等理科指導法	2後	2			1			1			
	初等生活科指導法	2前	2				2					
	初等英語科指導法	2後	2				1					
	初等音楽科指導法	2後	2									1
	初等図画工作科指導法	2後	2									1
	初等家庭科指導法	2前	2									1
	初等体育科指導法	2前	2				1					
	道徳教育指導論(初等)	2前	2				1					
	特別活動指導論(初等)	2後	2			1						
教育方法論(初等)	1前	2				1					2	
生徒指導・進路指導(初等)	2後	2				2						
教育相談(初等)	2後	2				2						
国語科概論	1前	2				1						
社会科概論	2前	2				1						
算数科概論	1前	2			1							
自然科学概論	2前	2				1						
生活科概論	1後	2				2						
英語科概論	2前	2				1						
音楽(歌唱)	1前	1					1					
音楽(器楽)	1後	1						1				
基礎造形Ⅰ	1後	1									1	
基礎造形Ⅱ	1後	1									1	
家庭科概論	2前	2									1	
体育Ⅰ	1前	1				1						
体育Ⅱ	2前	1				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目	国語科教材研究	2-3前		1			1					
	社会科教材研究	2-3後		1			1					
	算数科教材研究	2-3後		1		1		1				
	理科教材研究	2-3後		1			1					
	英語科教材研究	3-4前		1			1					
	体育科教材研究	2-3後		1			1					
	国語科教材演習	3-4前		1			1					
	算数科教材演習	3-4後		1		1		1				
	授業法の基礎	2前		2			1					
	教育制度研究	3前		2			1					
	教育史研究	3後		2				1				
	教職教養特別演習	3後		1		1	1					
	特別支援教育入門	1後	2			2		1				
	子どもの学びをつくる	3前		2			1					
	義務教育の未来を考える	3後		2			1					
	学校心理学	3前		2			1					
	認知心理学	3後		2			1					
	臨床心理学(発達障害入門)	3後		2			1					
	カウンセリング入門	3後		2			1					
	介護等体験入門	1後	1				1	1				
	地域活動実習	2前		1				2				
	学校インターンシップ	2後		1				3				
	教育実践特講	2後		2		1	1					
	地域学校教育活動	3前・後		1			2	1				
	初等教育実習事前・事後指導	2後~3後		1			1	1				
	初等教育実習	3通		4				2				
	教職実践演習(初等)	4後		2		2	1					
特別支援教育総論	2前		2			1		1				
知的障害児の心理・生理・病理	3前		2			1				1		
肢体不自由児の心理・生理・病理	3後		2			1				1		
病弱児の心理・生理・病理	3後		2							2		
知的障害児の教育課程と指導法	3前		2			1				1		
肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2							1		
病弱児の教育課程と指導法	3後		2							2		
視覚障害児教育総論	3後		2							1		
聴覚障害児教育総論	3前		2							1		
発達障害児・者等の支援と教育	3前		2		2		1			1		
障害児臨床支援演習Ⅰ	2前		2		1		1			1		
障害児臨床支援演習Ⅱ	3前		2		1		1			1		
特別支援学校教育実習	4通		3			2		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目	国語科教材研究	2-3前		1				1				
	社会科教材研究	2-3後		1				1				
	算数科教材研究	2-3後		1			1		1			
	理科教材研究	2-3後		1				1				
	英語科教材研究	3-4前		1				1				
	体育科教材研究	2-3後		1				1				
	国語科教材演習	3-4前		1				1				
	算数科教材演習	3-4後		1			1		1			
	授業法の基礎	2前		2			1					
	教育制度研究	3後		2				1				
	教育史研究	3後		2					1	1		
	教職教養特別演習	3後		1		1	1					
	特別支援教育入門	1後	2				2			1		
	子どもの学びをつくる	3前		2			1					
	義務教育の未来を考える	3後		2			1					
	学校心理学	3前		2			1					
	認知心理学	3後		2			1					
	臨床心理学(発達障害入門)	3後		2			1					
	カウンセリング入門	3後		2			1					
	介護等体験入門	2前	1					1	1	2		
	地域活動実習	2前		1					2			
	学校インターンシップ	2後		1					3			
	教育実践特講	2後		2		1	1					
	地域学校教育活動	3前・後		1					1	2		
	初等教育実習事前・事後指導	2後~3後		1			1	1				
	初等教育実習	3通		4					2			
	教職実践演習(初等)	4後		2			2	1				
特別支援教育総論	2前		2			1			1			
知的障害児の心理・生理・病理	3前		2			1					1	
肢体不自由児の心理・生理・病理	3後		2			1					1	
病弱児の心理・生理・病理	3後		2								2	
知的障害児の教育課程と指導法	3前		2			1					1	
肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2								1	
病弱児の教育課程と指導法	3後		2								2	
視覚障害児教育総論	3後		2								1	
聴覚障害児教育総論	3前		2								1	
発達障害児・者等の支援と教育	3前		2		2		2		1		1	
障害児臨床支援演習Ⅰ	2前		2		1		1		1		1	
障害児臨床支援演習Ⅱ	3前		2		1		1		1		1	
特別支援学校教育実習	4通		3			2		2	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目												
	教職入門ゼミナール	2前	1			9	7	3				
	教職研究基礎ゼミナール	2後	1			9	7	3				
	教職研究ゼミナール	3通	2			9	7	3				
	卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	4通	4			9	7	3				
	小計(80科目)	-										
	合計(145科目)	-										
卒業要件及び履修方法												
導入科目、コモンベシックス、ヒューマンベシックス、キャリア形成の分野から必修単位数15単位を含む32単位以上、専門基礎、専門応用・発展科目から必修科目64単位を含む82単位以上、さらにすべての分野から10単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用・発展科目	英語学概論	3前		2						1		
	英語音声学概論	2後		2						1		
	英語史概論	3前		2						1		
	英語発声演習	3後		2						1		
	英文法演習	3後		2						1		
	英米文学概論	3前		2								1
	英米文学演習Ⅰ	3後		2								1
	英米文学演習Ⅱ	3後		2								1
	ReadingⅠ	1前		2					1			1
	ReadingⅡ	2前		2					1			1
	Public Speaking	2前		2					1			1
	Writing SkillsⅠ	1後		2					1			1
	Writing SkillsⅡ	2後		2					1			1
	Discussion & Presentation	3前		2					1			1
	Communicative EnglishⅠ	3前		2					1			1
	Communicative EnglishⅡ	3後		2					1			1
	TOEIC総合演習Ⅰ	3前		2								1
	TOEIC総合演習Ⅱ	3後		2								1
	TOEIC総合演習Ⅲ	4前		2								1
	TOEIC総合演習Ⅳ	4後		2								1
	TOEFL演習Ⅰ	2前		2								1
	TOEFL演習Ⅱ	2後		2								1
	異文化理解概論	1後		2					1			
	英語圏文化演習Ⅰ	3前		2					1			
	英語圏文化演習Ⅱ	3後		2					1			
異文化交流海外研修	2前		2					1				
国際交流演習	2前・後		2						1			
英語科指導法Ⅰ	2前		2						1			
英語科指導法Ⅱ	2後		2						1			
英語科指導法Ⅲ	3前		2						1			
英語科指導法Ⅳ	3後		2						1			
教職入門ゼミナール	2前	1						10	7	5		
教職研究基礎ゼミナール	2後	1						10	7	5		
教職研究ゼミナール	3通	2						10	7	5		
卒業研究専門ゼミナール(卒業研究会)	4通	4						10	7	5		
小計(111科目)	-											
合計(176科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
導入科目、コモンベシックス、ヒューマンベシックス、キャリア形成の分野から必修単位数15単位を含む32単位以上、専門基礎、専門応用・発展科目から必修科目64単位を含む82単位以上、さらにすべての分野から10単位以上、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・留意事項への対応により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授7、講師2」から「教授9、准教授7、講師3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「学校ボランティア活動」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1」から「准教授2、講師2」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「教育基礎論（初等）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「教育課程総論（初等）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任1」に変更。
- ・留意事項への対応により、「初等算数科指導法」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、講師1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「初等理科指導法」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「教育方法論（初等）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「家庭科概論」の配当年次を「1年前期」から「2年前期」に変更。
- ・留意事項への対応により、「算数科教材研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・留意事項への対応により、「算数科教材演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・留意事項への対応により、「発達障害児・者の支援と教育」の科目名を「発達障害児・者等の支援と教育」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「障害児臨床支援演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、兼任1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「障害児臨床支援演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、兼任1」に変更。
- ・留意事項への対応により、「教職入門ゼミナール」「教職研究基礎ゼミナール」「教職研究ゼミナール」「卒業研究専門ゼミナール（卒業研究含む）」の専任教員等の配置を「教授9、准教授7、講師2」から「教授9、准教授7、講師3」に変更。

【平成30年度】

- ・専任教員の採用により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授7、講師3」から「教授10、准教授7、講師5」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「子どもの育ちと教育」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「地域課題研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「学校ボランティア活動」の専任教員等の配置を「准教授2、講師2」から「准教授1、講師3」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育基礎論（初等）」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「講師1、兼任1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育史（初等）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「教育制度論（初等）」の配当年次を「2年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「学校経営（初等）」の配当年次を「3年後期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「初等英語科指導法」の配当年次を「3年後期」から「2年後期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「教育制度研究」の配当年次を「3年前期」から「3年後期」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育史研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「介護等体験入門」の配当年次を「1年後期」から「2年前期」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「介護等体験入門」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「講師2」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「地域学校教育活動」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1」から「准教授1、講師2」に変更。
- ・英語教育を強化することを目的に、中学校・高等学校一種免許状（英語）取得に必要な授業科目を配置するために、科目区分「専門応用・発展科目」に「英語教育に関する科目群」として31科目62単位（すべて選択科目）を追加。
- ・専任教員の採用により、「教職入門ゼミナール」「教職研究基礎ゼミナール」「教職研究ゼミナール」「卒業研究専門ゼミナール（卒業研究含む）」の専任教員等の配置を「教授9、准教授7、講師3」から「教授10、准教授7、講師5」に変更。

【令和元年度】

- ・専任教員の辞任により、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授10、准教授7、講師5」から「教授9、准教授7、講師5」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「初等図画工作指導法」の配当年次を「2年後期」から「3年前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「初等家庭科指導法」の配当年次を「2年前期」から「3年前期」に変更。
- ・教育職員免許法施行規則の改正に伴い、「総合的な学習の指導法（初中等）」を「教職に関する科目群」に追加。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、「教職に関する科目群」のうち、13科目の名称を変更。  
「教職論（初等）」を「教職論（初中等）」、「教育基礎論（初等）」を「教育基礎論（初中等）」、「  
「教育史（初等）」を「教育史（初中等）」、「教育心理学（初等）」を「教育心理学（初中等）」、  
「発達心理学（初等）」を「発達心理学（初中等）」、「教育制度論（初等）」を「教育制度論（初中等）」、  
「学校経営（初等）」を「学校経営（初中等）」、「教育課程総論（初等）」を「教育課程総論（初中等）」、  
「道徳教育指導論（初等）」を「道徳教育指導論（初中等）」、「特別活動指導論（初等）」を「特別活動指導論（初中等）」、  
「教育方法論（初等）」を「教育方法論（初中等）」、「生徒指導・進路指導（初等）」を「生徒指導・進路指導（初中等）」、  
「教育相談（初等）」を「教育相談（初中等）」に名称を変更。
- ・教育効果を考慮し、「教育相談（初中等）」の配当年次を「2年後期」から「3年後期」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育制度論（初中等）」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「学校経営（初中等）」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育課程総論（初中等）」の専任教員等の配置を「教授1、兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「教育制度研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・専任教員の辞任により、「義務教育の未来を考える」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、「中等教育実習事前・事後指導」及び「中等教育実習Ⅰ」、「中等教育実習Ⅱ」を「教育実習科目群」に追加。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、「教職実践演習（初等）」を「教職実践演習（初中等）」に名称を変更。
- ・専任教員の辞任により、「教職入門ゼミナール」「教職研究基礎ゼミナール」「教職研究ゼミナール」「卒業研究専門ゼミナール（卒業研究含む）」の専任教員等の配置を「教授10、准教授7、講師5」から「教授9、准教授7、講師5」に変更。

- (注) ・ 2(1)①授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
45 科目	100 科目	0 科目	145 科目	45 科目 [ 0 ]	135 科目 [ 35 ]	0 科目 [ 0 ]	180 科目 [ 35 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{145} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	松本大学松商短期大学部と共用  総合グラウンド 借用面積 17,879㎡ 借用期間 平成22年4月1日～42年3月31日			
	校舎敷地	5,465.64 ㎡	31,162.22 ㎡	2,014.94 ㎡	38,642.80 ㎡				
	運動場用地	0.00 ㎡	35,783.23 ㎡	0.00 ㎡	35,783.23 ㎡				
	小 計	5,465.64 ㎡	66,945.45 ㎡	2,014.94 ㎡	74,426.03 ㎡				
	そ の 他	0.00 ㎡	20,278.07 ㎡	0.00 ㎡	20,278.07 ㎡				
	合 計	5,465.64 ㎡	87,223.52 ㎡	2,014.94 ㎡	94,704.10 ㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	松本大学松商短期大学部と共用 平成31年2月 9号館が竣工したため (元)			
		15,826.06 ㎡ 15,361.59 ㎡ (15,826.06 ㎡) (15,361.59 ㎡)	7,990.87 ㎡ 7,347.26 ㎡ (7,990.87 ㎡) (7,347.26 ㎡)	4,292.22 ㎡ ㎡ (4,292.22 ㎡)	28,109.15 ㎡ 27,001.07 ㎡ (28,109.15 ㎡) (27,001.07 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	30 室	演習室 8 - 7 室	実験実習室 28 - 30 室	情報処理学習施設 7 室  (補助職員 3 人)	語学学習施設 0 室  (補助職員 - 人)	松本大学全体  情報処理学習施設は松本大学松商短期大学部と共用（情報処理学習施設は語学学習施設としても使用。） 平成29年4月 演習室：演習室1室を教職支援センターに用途を変更したため（29） 実験実習室：実習室2室を専任教員研究室に用途を変更したため（29） 平成31年2月 演習室：9号館竣工に伴い、演習室2室を増設したため（元）		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成29年4月 専任講師1名を 追加採用のため（29）			
	教育学部 学校教育学科			19 - 18 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		教育学部	3,184 [229] (1,929 [65])	27 [7] (27 [7])	1 [1] (1 [1])	100 (50)	1,300 (1,300)		150 (150)
		計	3,184 [229] (1,929 [65])	27 [7] (27 [7])	1 [1] (1 [1])	100 (50)	1,300 (1,300)		150 (150)
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数		松本大学松商短期大学部と共用		
	1,220.78 ㎡		214 席		169,000 冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				松本大学松商短期大学部と共用		
	第一 1964.05㎡ 8号館 881.49㎡		硬式野球場1面、弓道場、テニスコート2面、室内練習場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	300 千円	300 千円	図書購入費	9,131 千円	4,484 千円	200 千円	
		共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	240,752 千円	5,000 千円	5,000 千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,330 千円	1,080 千円	1,080 千円	1,080 千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	松本大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
健康科学研究科	2	6	-	12	-	0.91	-	平成23	-	
健康科学専攻	2	6	-	12	修士 (健康科学)	0.91	-	平成23	長野県松本市新村2095番地1号	
大学院全体	2	6	-	12	-	0.91	-	-	-	
総合経営学部	4	170	10	700	-	1.14	-	平成14	-	
総合経営学科	4	90	3年次5	370	学士 (総合経営)	1.16	平成30	平成14	長野県松本市新村2095番地1号	定員変更(10)
観光文化リテイ学科	4	80	3年次5	330	学士 (総合経営)	1.12	-	平成18	同上	
人間健康学部	4	170	10	700	-	1.11	-	平成19	-	
健康栄養学科	4	70	3年次5	290	学士 (健康栄養学)	1.01	平成30	平成19	長野県松本市新村2095番地1号	定員変更(△10)
スポーツ健康学科	4	100	3年次5	410	学士 (スポーツ健康学)	1.21	平成30	平成19	同上	定員変更(20)
教育学部	4	80	-	320	-	0.96	-	平成29	-	
学校教育学科	4	80	-	320	学士 (教育学)	0.96	-	平成29	長野県松本市新村2095番地1号	
大学全体	4	420	20	1,720	-	1.07	-	-	-	
大学の名称	松本大学松商短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
商学科	2	100	/	200	短期大学士 (商学)	1.06	-	昭和28	長野県松本市新村2095番地1号	
経営情報学科	2	100	/	200	短期大学士 (経営情報学)	1.05	-	平成4	同上	
短期大学全体	2	200	/	400	-	1.05	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専	教授	羽田行男 (61) <平成29年4月> 教育学修士	専	教授	羽田行男 (62) <平成29年4月> 教育学修士	専	教授	羽田行男 (63) <平成29年4月> 教育学修士	専	教授	羽田行男 (64) <平成29年4月> 教育学修士
	教育方法論(初等) 臨床心理学(発達障害入門) カウンセリング入門 初等教育実習事前・事後指導 発達障害児・者の支援と教育 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			教育方法論(初等) 臨床心理学(発達障害入門) カウンセリング入門 初等教育実習事前・事後指導 <b>発達障害児・者の支援と教育</b> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			教育方法論(初等) 臨床心理学(発達障害入門) カウンセリング入門 初等教育実習事前・事後指導 <b>発達障害児・者の支援と教育</b> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			教育方法論(初中等) 臨床心理学(発達障害入門) カウンセリング入門 初等教育実習事前・事後指導 <b>発達障害児・者の支援と教育</b> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	
専	教授	岸田幸弘 (58) <平成29年4月> 博士(学術)	専	教授	岸田幸弘 (59) <平成29年4月> 博士(学術)	専	教授	岸田幸弘 (60) <平成29年4月> 博士(学術)	専	教授	岸田幸弘 (61) <平成29年4月> 博士(学術)
	対人関係の心理学 特別活動指導論(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 学校心理学  基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			対人関係の心理学 特別活動指導論(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 学校心理学  基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			対人関係の心理学 特別活動指導論(初等) 生徒指導・進路指導(初等) 教育相談(初等) 学校心理学  基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			対人関係の心理学 <b>特別活動指導論(初中等)</b> <b>生徒指導・進路指導(初中等)</b> <b>教育相談(初中等)</b> 中等教育実習事前・事後指導 <b>中等教育実習Ⅰ</b> 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	
						専	教授	大石文朗 (58) <平成30年4月> 博士(人間文化)	専	教授	大石文朗 (59) <平成30年4月> 博士(人間文化)
							教授	異文化理解概論 英語圏文化演習Ⅰ 英語圏文化演習Ⅱ 異文化交流海外研修 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)		教授	異文化理解概論 英語圏文化演習Ⅰ 英語圏文化演習Ⅱ 異文化交流海外研修 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
専	教授	武者一弘 (48) <平成29年4月> 修士(教育学)	専	教授	武者一弘 (48) <平成29年4月> 修士(教育学)	専	教授	武者一弘 (49) <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	武者一弘 (50) <平成29年4月> 修士(教育学)
	教育制度論(初等) 学校経営(初等) 教育課程総論(初等) 教育制度研究 義務教育の未来を考える 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			教育制度論(初等) 学校経営(初等) 教育課程総論(初等) 教育制度研究 義務教育の未来を考える 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			教育制度論(初等) 学校経営(初等) 教育課程総論(初等) 教育制度研究 義務教育の未来を考える 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			教育制度論(初中等) 学校経営(初中等) 教育課程総論(初中等) 教育制度研究 義務教育の未来を考える	
専	准教授	征矢野達彦 (64) <平成29年4月> 文学士	専	准教授	征矢野達彦 (64) <平成29年4月> 文学士	専	准教授	征矢野達彦 (65) <平成29年4月> 文学士	専	准教授	征矢野達彦 (66) <平成29年4月> 文学士
	地域社会と学校教育 学校ボランティア活動 道徳教育指導論(初等) 学校インターンシップ 初等教育実習事前・事後指導 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			地域社会と学校教育 学校ボランティア活動 道徳教育指導論(初等) 学校インターンシップ 初等教育実習事前・事後指導 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			地域社会と学校教育 学校ボランティア活動 道徳教育指導論(初等) 学校インターンシップ 初等教育実習事前・事後指導 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			地域社会と学校教育 学校ボランティア活動 <b>道徳教育指導論(初中等)</b> 学校インターンシップ 初等教育実習事前・事後指導 初等教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	
専	准教授	濱田敦志 (52) <平成29年4月> 教育学修士	専	准教授	濱田敦志 (53) <平成29年4月> 教育学修士	専	准教授	濱田敦志 (54) <平成29年4月> 教育学修士	専	准教授	濱田敦志 (55) <平成29年4月> 教育学修士
	生涯ｽﾎｰﾌﾟⅠ(集団的ｽﾎｰﾌﾟ) 生涯ｽﾎｰﾌﾟⅡ(個人的ｽﾎｰﾌﾟ) 初等体育科指導法 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			生涯ｽﾎｰﾌﾟⅠ(集団的ｽﾎｰﾌﾟ) 生涯ｽﾎｰﾌﾟⅡ(個人的ｽﾎｰﾌﾟ) 初等体育科指導法 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			生涯ｽﾎｰﾌﾟⅠ(集団的ｽﾎｰﾌﾟ) 生涯ｽﾎｰﾌﾟⅡ(個人的ｽﾎｰﾌﾟ) 初等体育科指導法 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			生涯ｽﾎｰﾌﾟⅠ(集団的ｽﾎｰﾌﾟ) 生涯ｽﾎｰﾌﾟⅡ(個人的ｽﾎｰﾌﾟ) 初等体育科指導法 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								MEHMET SEAN COLLIN (51) <平成30年4月> Master of Education			MEHMET SEAN COLLIN (52) <平成30年4月> Master of Education
							専任	Reading I Reading II Public Speaking Writing Skills I Writing Skills II Discussion & Presentation Communicative English I Communicative English II 国際交流演習 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)		専任	Reading I Reading II Public Speaking Writing Skills I Writing Skills II Discussion & Presentation Communicative English I Communicative English II 国際交流演習 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
		澤 柿 教 淳 (48) <平成29年4月> 教育学士			澤 柿 教 淳 (49) <平成29年4月> 教育学士			澤 柿 教 淳 (50) <平成29年4月> 教育学士			澤 柿 教 淳 (51) <平成29年4月> 教育学士
専任	准教授	初等理科指導法 初等生活科指導法 自然科学概論 生活科概論 理科教材研究 地域活動実習 学校インターンシップ 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	初等理科指導法 初等生活科指導法 自然科学概論 生活科概論 理科教材研究 地域活動実習 学校インターンシップ 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	初等理科指導法 初等生活科指導法 自然科学概論 生活科概論 理科教材研究 地域活動実習 学校インターンシップ 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	初等理科指導法 初等生活科指導法 総合的な学習の時間の指導法(初中等) 自然科学概論 生活科概論 理科教材研究 地域活動実習 学校インターンシップ 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
		秋 田 真 (46) <平成29年4月> 教育学修士			秋 田 真 (47) <平成29年4月> 博士(学術)			秋 田 真 (48) <平成29年4月> 博士(学術)			秋 田 真 (49) <平成29年4月> 博士(学術)
専任	准教授	初等社会科指導法 初等生活科指導法 社会科概論 生活科概論 社会科教材研究 地域活動実習 地域学校教育活動 初等教育実習 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	初等社会科指導法 初等生活科指導法 社会科概論 生活科概論 社会科教材研究 地域活動実習 地域学校教育活動 初等教育実習 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	初等社会科指導法 初等生活科指導法 社会科概論 生活科概論 社会科教材研究 地域活動実習 地域学校教育活動 初等教育実習 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	初等社会科指導法 初等生活科指導法 総合的な学習の時間の指導法(初中等) 社会科概論 生活科概論 社会科教材研究 地域活動実習 地域学校教育活動 初等教育実習 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
		國 府 田 祐 子 (45) <平成29年4月> 教育学修士			國 府 田 祐 子 (46) <平成29年4月> 教育学修士			國 府 田 祐 子 (47) <平成29年4月> 教育学修士			國 府 田 祐 子 (48) <平成29年4月> 教育学修士
専任	准教授	地域と文学 初等国語科指導法 国語科概論 国語科教材研究 国語科教材演習 教職教養特別演習 学校インターンシップ 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	地域と文学 初等国語科指導法 国語科概論 国語科教材研究 国語科教材演習 教職教養特別演習 学校インターンシップ 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	地域と文学 初等国語科指導法 国語科概論 国語科教材研究 国語科教材演習 教職教養特別演習 学校インターンシップ 教育実践特講 教職実践演習(初等) 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	地域と文学 初等国語科指導法 国語科概論 国語科教材研究 国語科教材演習 教職教養特別演習 学校インターンシップ 教育実践特講 教職実践演習(初中等) 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)
		藤 枝 充 子 (45) <平成29年4月> 修士(教育学)			藤 枝 充 子 (46) <平成29年4月> 修士(教育学)						
専任	准教授	子どもの育ちと教育 地域課題研究 学校ボランティア活動 教育基礎論(初等) 教育史(初等) 教育史研究 介護等体験入門 地域学校教育活動 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	専任	准教授	子どもの育ちと教育 地域課題研究 学校ボランティア活動 教育基礎論(初等) 教育史(初等) 教育史研究 介護等体験入門 地域学校教育活動 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専	准教授	和田 順一 (42) <平成29年4月> 修士(教育学)	専	准教授	和田 順一 (43) <平成29年4月> 修士(教育学)	専	准教授	和田 順一 (44) <平成29年4月> 修士(教育学)	専	准教授	和田 順一 (45) <平成29年4月> 修士(教育学)
	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 初等英語科指導法 英語科概論 英語科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 初等英語科指導法 英語科概論 英語科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 初等英語科指導法 英語科概論 英語科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 初等英語科指導法 英語科概論 英語科教材研究 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む) <b>中等教育実習事前・事後指導</b> <b>中等教育実習Ⅰ</b> <b>英語科指導法Ⅰ</b> <b>英語科指導法Ⅱ</b> <b>英語科指導法Ⅲ</b> <b>英語科指導法Ⅳ</b>	
専	講師	安藤 江里 (50) <平成29年4月> 教育学修士	専	講師	安藤 江里 (50) <平成29年4月> 教育学修士	専	講師	安藤 江里 (51) <平成29年4月> 教育学修士	専	講師	安藤 江里 (52) <平成29年4月> 教育学修士
	音楽の歴史と鑑賞 音楽(歌唱) 音楽(器楽) 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			音楽の歴史と鑑賞 音楽(歌唱) 音楽(器楽) 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			音楽の歴史と鑑賞 音楽(歌唱) 音楽(器楽) 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			音楽の歴史と鑑賞 音楽(歌唱) 音楽(器楽) 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	
			専	講師	佐藤 茂太郎 (38) <平成29年4月> 学士(法学)	専	講師	佐藤 茂太郎 (39) <平成29年4月> 学士(法学)	専	講師	佐藤 茂太郎 (40) <平成29年4月> 学士(法学)
				初等算数科指導法 算数科教材研究 算数科教材演習 学校ボランティア活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			初等算数科指導法 算数科教材研究 算数科教材演習 学校ボランティア活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			初等算数科指導法 算数科教材研究 算数科教材演習 学校ボランティア活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	
						専	講師	藤原 隆史 (37) <平成30年4月> MA Applied Linguistics	専	講師	藤原 隆史 (38) <平成30年4月> MA Applied Linguistics
							英語学概論 英語音声学概論 英語史概論 英語発声演習 英文法演習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			中等教育実習事前・事後指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 英語学概論 英語音声学概論 英語史概論 英語発声演習 英文法演習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	
						専	講師	大藤 真由美 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)	専	講師	大藤 真由美 (35) <平成30年4月> 修士(教育学)
							子どもの育ちと教育 地域課題研究 学校ボランティア活動 教育基礎論(初等) 教育史(初等) 教育史研究 介護等体験入門 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)			子どもの育ちと教育 地域課題研究 学校ボランティア活動 教育基礎論(初中等) 教育史(初中等) 教育史研究 介護等体験入門 地域学校教育活動 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門ゼミナール 教職研究基礎ゼミナール 教職研究ゼミナール 卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	内藤千尋 (28) <平成29年4月> 修士(教育学)	学校がラテ7活動 特別支援教育入門 介護等体験入門 特別支援教育総論 発達障害児・者の支援と教育 障害児臨床支援演習Ⅰ 障害児臨床支援演習Ⅱ 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門セミナー 教職研究基礎セミナー 教職研究セミナー 卒業研究専門セミナー(卒業研究含む)	専任	講師	内藤千尋 (29) <平成29年4月> 修士(教育学)	学校がラテ7活動 特別支援教育入門 介護等体験入門 特別支援教育総論 <b>発達障害児・者の支援と教育</b> 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門セミナー 教職研究基礎セミナー 教職研究セミナー 卒業研究専門セミナー(卒業研究含む)	専任	講師	内藤千尋 (30) <平成29年4月> 修士(教育学)	学校がラテ7活動 特別支援教育入門 介護等体験入門 特別支援教育総論 <b>発達障害児・者の支援と教育</b> 特別支援学校教育実習 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教職入門セミナー 教職研究基礎セミナー 教職研究セミナー 卒業研究専門セミナー(卒業研究含む)
兼任	教授	住吉廣行 (68) <平成29年4月> 理学博士	地域社会と大学教育 地球環境と人間生活	兼任	教授	住吉廣行 (68) <平成29年4月> 理学博士	地域社会と大学教育 地球環境と人間生活	兼任	教授	住吉廣行 (69) <平成29年4月> 理学博士	地域社会と大学教育 地球環境と人間生活
兼任	教授	進藤政臣 (67) <平成29年4月> 医学博士	こころと体の健康	兼任	教授	進藤政臣 (68) <平成29年4月> 医学博士	こころと体の健康	兼任	教授	進藤政臣 (69) <平成29年4月> 医学博士	<b>青木雄次 (83) &lt;平成31年4月&gt; 医学博士</b> こころと体の健康
兼任	教授	廣田直子 (63) <平成29年4月> 博士(学術)	こころと体の健康	兼任	教授	廣田直子 (64) <平成29年4月> 博士(学術)	こころと体の健康	兼任	教授	廣田直子 (65) <平成29年4月> 博士(学術)	こころと体の健康
兼任	教授	木村晴壽 (62) <平成29年4月> 商学修士	地域経済史	兼任	教授	木村晴壽 (63) <平成29年4月> 商学修士	地域経済史	兼任	教授	木村晴壽 (64) <平成29年4月> 商学修士	地域経済史
兼任	教授	山根宏文 (63) <平成29年4月> 法学士	日本文化	兼任	教授	山根宏文 (63) <平成29年4月> 法学士	日本文化	兼任	教授	山根宏文 (64) <平成29年4月> 法学士	日本文化
兼任	教授	木藤伸夫 (61) <平成29年4月> 医学博士	数学の基礎 生物学の基礎 化学の基礎 地域環境と生態	兼任	教授	木藤伸夫 (61) <平成29年4月> 医学博士	数学の基礎 生物学の基礎 化学の基礎 地域環境と生態	兼任	教授	木藤伸夫 (62) <平成29年4月> 医学博士	数学の基礎 生物学の基礎 化学の基礎 地域環境と生態
兼任	教授	林昌孝 (60) <平成29年4月> 工学修士	基礎統計学	兼任	教授	林昌孝 (61) <平成29年4月> 工学修士	基礎統計学	兼任	教授	林昌孝 (62) <平成29年4月> 工学修士	基礎統計学
兼任	教授	眞次宏典 (54) <平成29年4月> 政治学修士	日本国憲法	兼任	教授	眞次宏典 (55) <平成29年4月> 政治学修士	日本国憲法	兼任	教授	眞次宏典 (56) <平成29年4月> 政治学修士	日本国憲法
兼任	准教授	上野隆幸 (47) <平成29年4月> 修士(経営学)	キャリア入門	兼任	教授	上野隆幸 (48) <平成29年4月> 修士(経営学)	キャリア入門	兼任	教授	上野隆幸 (49) <平成29年4月> 修士(経営学)	キャリア入門
兼任	教授	福島智子 (44) <平成29年4月> 博士(人間・環境学)	生命倫理 文化人類学	兼任	教授	福島智子 (44) <平成29年4月> 博士(人間・環境学)	生命倫理 文化人類学	兼任	教授	福島智子 (45) <平成29年4月> 博士(人間・環境学)	生命倫理 文化人類学
兼任	講師	中島節子 (57) <平成29年4月> 修士(看護学)	こころと体の健康	兼任	講師	中島節子 (57) <平成29年4月> 修士(看護学)	こころと体の健康	兼任	講師	中島節子 (58) <平成29年4月> 修士(看護学)	こころと体の健康
兼任	講師	田邊愛子 (40) <平成29年4月> 医学修士	生涯スキルⅠ(集团的スキル) 生涯スキルⅡ(個人的スキル)	兼任	講師	田邊愛子 (41) <平成29年4月> 医学修士	生涯スキルⅠ(集团的スキル) 生涯スキルⅡ(個人的スキル)	兼任	准教授	田邊愛子 (42) <平成29年4月> 医学修士	生涯スキルⅠ(集团的スキル) 生涯スキルⅡ(個人的スキル)
兼任	講師	齊藤茂 (39) <平成29年4月> 修士(教育情報学)	生涯スキルⅠ(集团的スキル) 生涯スキルⅡ(個人的スキル)	兼任	准教授	齊藤茂 (39) <平成29年4月> 修士(教育情報学)	生涯スキルⅠ(集团的スキル) 生涯スキルⅡ(個人的スキル)	兼任	准教授	齊藤茂 (40) <平成29年4月> 修士(教育情報学)	生涯スキルⅠ(集团的スキル) 生涯スキルⅡ(個人的スキル)
兼任	講師	宮坂るみ (40) <平成29年4月> Bachelor of Arts	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ TOEICⅠ TOEICⅡ	兼任	講師	宮坂るみ (41) <平成29年4月> Bachelor of Arts	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ TOEICⅠ TOEICⅡ	兼任	講師	宮坂るみ (42) <平成29年4月> Bachelor of Arts	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ TOEICⅠ TOEICⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	山浦かおる (53)
		<平成29年4月> 教育学士
兼任	講師	大岩裕子 (59)
		<平成29年4月> 学士(文学)
兼任	講師	Frederick Jay Carruth (62)
		<平成29年4月> Masters Degree in Linguistics
兼任	講師	Mision Miguel (31)
		<平成29年4月> Master in Education, Major in TESOL
兼任	講師	Phillip Eater (39)
		<平成29年4月> Bachelor of Business
兼任	講師	Frith David Howard (40)
		<平成29年4月> Bachelor of Fine Art
兼任	講師	荒井克美 (45)
		<平成29年4月> 学士(国際関係学専攻)
兼任	講師	稲増佳代 (31)
		<平成29年4月> 学士(国際関係学)
兼任	講師	鈴木葉子 (42)
		<平成29年4月> 学士(法学)
兼任	講師	白鳥敬日瑚 (58)
		<平成29年4月> 博士(工学)
兼任	講師	内川小百合 (65)
		<平成29年4月> 経済学修士
兼任	講師	松尾千鶴 (35)
		<平成29年4月> 芸術学士
兼任	講師	小林美代子 (54)
		<平成29年4月> 経済学学士
兼任	講師	松澤みわ子 (53)
		<平成29年4月> 短期大学卒業
兼任	講師	河西文子 (49)
		<平成29年4月> 短期大学卒業
兼任	講師	駒村明子 (47)
		<平成29年4月> 短期大学卒業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	山浦かおる (54)
		<平成29年4月> 教育学士
兼任	講師	大岩裕子 (60)
		<平成29年4月> 学士(文学)
兼任	講師	Frederick Jay Carruth (63)
		<平成29年4月> Masters Degree in Linguistics
兼任	講師	Mision Miguel (31)
		<平成29年4月> Master in Education, Major in TESOL
兼任	講師	Phillip Eater (39)
		<平成29年4月> Bachelor of Business
兼任	講師	Frith David Howard (41)
		<平成29年4月> Bachelor of Fine Art
兼任	講師	荒井克美 (45)
		<平成29年4月> 学士(国際関係学専攻)
兼任	講師	稲増佳代 (32)
		<平成29年4月> 学士(国際関係学)
兼任	講師	鈴木葉子 (42)
		<平成29年4月> 学士(法学)
兼任	講師	白鳥敬日瑚 (59)
		<平成29年4月> 博士(工学)
兼任	講師	内川小百合 (66)
		<平成29年4月> 経済学修士
兼任	講師	松尾千鶴 (36)
		<平成29年4月> 芸術学士
兼任	講師	小林美代子 (55)
		<平成29年4月> 経済学学士
兼任	講師	松澤みわ子 (53)
		<平成29年4月> 短期大学卒業
兼任	講師	河西文子 (50)
		<平成29年4月> 短期大学卒業
兼任	講師	駒村明子 (48)
		<平成29年4月> 短期大学卒業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	山浦かおる (55)
		<平成29年4月> 教育学士
兼任	講師	大岩裕子 (61)
		<平成29年4月> 学士(文学)
兼任	講師	Frederick Jay Carruth (64)
		<平成29年4月> Masters Degree in Linguistics
兼任	講師	Mision Miguel (32)
		<平成29年4月> Master in Education, Major in TESOL
兼任	講師	Phillip Eater (40)
		<平成29年4月> Bachelor of Business
兼任	講師	Frith David Howard (42)
		<平成29年4月> Bachelor of Fine Art
兼任	講師	荒井克美 (46)
		<平成29年4月> 学士(国際関係学専攻)
兼任	講師	稲増佳代 (33)
		<平成29年4月> 学士(国際関係学)
兼任	講師	鈴木葉子 (43)
		<平成29年4月> 学士(法学)
兼任	講師	久保田裕 (61)
		<平成30年4月> 学士(法学)
兼任	講師	内川小百合 (67)
		<平成29年4月> 経済学修士
兼任	講師	松尾千鶴 (37)
		<平成29年4月> 芸術学士
兼任	講師	小林美代子 (56)
		<平成29年4月> 経済学学士
兼任	講師	松澤みわ子 (54)
		<平成29年4月> 短期大学卒業
兼任	講師	河西文子 (51)
		<平成29年4月> 短期大学卒業
兼任	講師	駒村明子 (49)
		<平成29年4月> 短期大学卒業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	山浦かおる (56)
		<平成29年4月> 教育学士
兼任	講師	大岩裕子 (62)
		<平成29年4月> 学士(文学)
兼任	講師	Frederick Jay Carruth (65)
		<平成29年4月> Masters Degree in Linguistics
兼任	講師	Mision Miguel (33)
		<平成29年4月> Master in Education, Major in TESOL
兼任	講師	Phillip Eater (41)
		<平成29年4月> Bachelor of Business
兼任	講師	Frith David Howard (43)
		<平成29年4月> Bachelor of Fine Art
兼任	講師	荒井克美 (47)
		<平成29年4月> 学士(国際関係学専攻)
兼任	講師	稲増佳代 (34)
		<平成31年4月> 学士(国際関係学)
兼任	講師	鈴木葉子 (44)
		<平成29年4月> 学士(法学)
兼任	講師	内川小百合 (68)
		<平成29年4月> 経済学修士
兼任	講師	松尾千鶴 (38)
		<平成29年4月> 芸術学士
兼任	講師	小林美代子 (57)
		<平成29年4月> 経済学学士
兼任	講師	松澤みわ子 (55)
		<平成29年4月> 短期大学卒業
兼任	講師	河西文子 (52)
		<平成29年4月> 短期大学卒業
兼任	講師	駒村明子 (50)
		<平成29年4月> 短期大学卒業

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	永田綾子 (42) <平成29年4月> 高等学校卒業 情報処理Ⅳ(パソコン) 情報処理Ⅴ(ネットワーク)	兼任	講師	永田綾子 (42) <平成29年4月> 高等学校卒業 情報処理Ⅳ(パソコン) 情報処理Ⅴ(ネットワーク)	兼任	講師	永田綾子 (44) <平成29年4月> 高等学校卒業 情報処理Ⅳ(パソコン) 情報処理Ⅴ(ネットワーク)
兼任	講師	護山真也 (44) <平成29年4月> 哲学博士	兼任	講師	護山真也 (45) <平成29年4月> 哲学博士	兼任	講師	護山真也 (47) <平成29年4月> 哲学博士
		哲学			哲学			哲学
兼任	講師	江成康明 (65) <平成29年4月> 法学士	兼任	講師	江成康明 (66) <平成29年4月> 法学士	兼任	講師	江成康明 (67) <平成29年4月> 法学士
		新聞に見る社会の動き 環境社会学			新聞に見る社会の動き 環境社会学			新聞に見る社会の動き 環境社会学
兼任	講師	糸井重夫 (56) <平成29年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	糸井重夫 (56) <平成29年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	糸井重夫 (57) <平成29年4月> 博士(経済学)
		経済入門 国際経済 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ			経済入門 国際経済 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ			経済入門 国際経済 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外事情Ⅰ 海外事情Ⅱ
兼任	講師	小松芳郎 (66) <平成29年4月> 教育学士	兼任	講師	小松芳郎 (67) <平成29年4月> 教育学士	兼任	講師	小松芳郎 (68) <平成29年4月> 教育学士
		近代日本の歴史 地域の歴史 地域の伝統行事			近代日本の歴史 地域の歴史 地域の伝統行事			近代日本の歴史 地域の歴史 地域の伝統行事
兼任	講師	松原健二 (59) <平成29年4月> 教育学修士	兼任	講師	松原健二 (60) <平成29年4月> 教育学修士	兼任	講師	松原健二 (61) <平成29年4月> 教育学修士
		比較文化			比較文化			比較文化
兼任	講師	水橋文雄 (67) <平成29年4月> 工学士	兼任	講師	水橋文雄 (68) <平成29年4月> 工学士	兼任	講師	水橋文雄 (69) <平成29年4月> 工学士
		ごみ処理と循環型社会			ごみ処理と循環型社会	兼任	講師	<b>丸山文男 (59) &lt;平成31年4月&gt; 博士(理学)</b>
兼任	講師	道幸俊也 (53) <平成29年4月> 工学士	兼任	講師	道幸俊也 (53) <平成29年4月> 工学士	兼任	講師	道幸俊也 (55) <平成29年4月> 工学士
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ			キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ			キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任	講師	野村尚 (64) <平成29年4月> 法学士	兼任	講師	野村尚 (64) <平成29年4月> 法学士	兼任	講師	野村尚 (66) <平成29年4月> 法学士
		ワークインフォメーション			ワークインフォメーション			ワークインフォメーション
兼任	講師	中山裕一郎 (66) <平成29年4月> 芸術学修士	兼任	講師	中山裕一郎 (67) <平成29年4月> 芸術学修士	兼任	講師	中山裕一郎 (68) <平成29年4月> 芸術学修士
		初等音楽科指導法			初等音楽科指導法			初等音楽科指導法
兼任	講師	岡田匡史 (58) <平成29年4月> 芸術学修士	兼任	講師	岡田匡史 (59) <平成29年4月> 芸術学修士	兼任	講師	岡田匡史 (60) <平成29年4月> 芸術学修士
		初等図画工作科指導法 基礎造形Ⅰ 基礎造形Ⅱ			初等図画工作科指導法 基礎造形Ⅰ 基礎造形Ⅱ			初等図画工作科指導法 基礎造形Ⅰ 基礎造形Ⅱ
兼任	講師	千葉悦子 (59) <平成29年4月> 家政学修士	兼任	講師	千葉悦子 (59) <平成29年4月> 家政学修士	兼任	講師	千葉悦子 (60) <平成29年4月> 家政学修士
		初等家庭科指導法 家庭科概論			初等家庭科指導法 家庭科概論			初等家庭科指導法 家庭科概論
兼任	講師	関ひろみ (51) <平成29年4月> 医学士	兼任	講師	関ひろみ (52) <平成29年4月> 医学士	兼任	講師	関ひろみ (53) <平成29年4月> 医学士
		知的障害児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理			知的障害児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理			知的障害児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	加藤光朗 (57) <平成29年4月> 医学博士	兼任	講師	加藤光朗 (58) <平成29年4月> 医学博士	兼任	講師	加藤光朗 (59) <平成29年4月> 医学博士
		肢体不自由児の心理・生理・病理			肢体不自由児の心理・生理・病理			肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	宮地弘一郎 (40) <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	宮地弘一郎 (41) <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	宮地弘一郎 (42) <平成29年4月> 修士(教育学)
		病弱児の心理・生理・病理 病弱児の教育課程と指導法 発達障害児・者の支援と教育			病弱児の心理・生理・病理 <b>発達障害児・者の支援と教育</b>			病弱児の心理・生理・病理 <b>発達障害児・者の支援と教育</b>
兼任	講師	渡邊流理也 (38) <平成29年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	渡邊流理也 (39) <平成29年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	渡邊流理也 (40) <平成29年4月> 博士(教育学)
		病弱児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法			病弱児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法			病弱児の教育課程と指導法 肢体不自由児の教育課程と指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大庭重治 (59) <平成29年4月> 教育学博士	大庭重治 (60) <平成29年4月> 教育学博士
		視覚障害児教育総論	視覚障害児教育総論
兼任	講師	庄司和史 (58) <平成29年4月> 修士(教育学)	庄司和史 (59) <平成29年4月> 修士(教育学)
		聴覚障害児教育総論	聴覚障害児教育総論
兼任	講師	川上浄明 (66) <平成29年4月> 文学士	川上浄明 (67) <平成29年4月> 文学士
		日本地理	日本地理
兼任	講師	都築繁幸 (64) <平成29年4月> 教育学博士	都築繁幸 (64) <平成29年4月> 教育学博士
		知的障害児の教育課程と指導法	知的障害児の教育課程と指導法
			障害児臨床支援演習Ⅰ
兼任	講師	山崎保寿 (64) <平成29年4月> 博士(学術)	山崎保寿 (65) <平成29年4月> 博士(学術)
		教育基礎論(初等)	教育基礎論(初等)
		教育課程総論(初等)	教育課程総論(初等)
兼任	講師	狩野浩二 (52) <平成29年4月> 修士(教育学)	狩野浩二 (53) <平成29年4月> 修士(教育学)
		教育方法論(初等)	教育方法論(初等)
兼任	講師	安達一寿 (53) <平成29年4月> 博士(教育学)	安達一寿 (54) <平成29年4月> 博士(教育学)
		教育方法論(初等)	教育方法論(初等)
兼任	講師	滝川国芳 (54) <平成29年4月> 博士(医療福祉学)	滝川国芳 (55) <平成29年4月> 博士(医療福祉学)
		病児の教育課程と指導法	病児の教育課程と指導法
兼任	講師	吉川知夫 (51) <平成29年4月> 修士(教育学)	吉川知夫 (52) <平成29年4月> 修士(教育学)
		障害児臨床支援演習Ⅱ	障害児臨床支援演習Ⅱ
			金子史彦 (45) <平成30年4月> 博士(文学及び批評)
兼任	講師	金子史彦 (46) <平成30年4月> 博士(文学及び批評)	金子史彦 (45) <平成30年4月> 博士(文学及び批評)
		英米文学概論	英米文学概論
		英米文学演習Ⅰ	英米文学演習Ⅰ
		英米文学演習Ⅱ	英米文学演習Ⅱ
兼任	講師	梶井智子 (38) <平成30年4月> 学士	梶井智子 (39) <平成30年4月> 学士
		Reading I	Reading I
		Public Speaking	Public Speaking
		Writing Skills I	Writing Skills I
		Discussion & Presentation	Discussion & Presentation
		Communicative English I	Communicative English I
兼任	講師	勝山庸子 (47) <平成30年4月> 学士	勝山庸子 (48) <平成30年4月> 学士
		TOEIC総合演習Ⅰ	TOEIC総合演習Ⅰ
		TOEIC総合演習Ⅱ	TOEIC総合演習Ⅱ
		TOEIC総合演習Ⅲ	TOEIC総合演習Ⅲ
		TOEIC総合演習Ⅳ	TOEIC総合演習Ⅳ
兼任	講師	勝山庸子 (47) <平成30年4月> 学士	勝山庸子 (48) <平成30年4月> 学士
		TOEFL演習Ⅰ	TOEFL演習Ⅰ
		TOEFL演習Ⅱ	TOEFL演習Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・留意事項への対応により、平成29年4月佐藤講師就任。平成28年11月教員審査済。
- ・兼任教員の昇進により、上野准教授が教授に昇進。
- ・兼任教員の昇進により、齊藤講師が准教授に昇進。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として山崎講師を採用。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として狩野講師を採用。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として安達講師を採用。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として滝川講師を採用。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、兼任講師として吉川講師を採用。

【平成30年度】

- ・英語教育を強化することを目的に、平成30年4月大石教授就任。平成29年11月教員審査済。
- ・英語教育を強化することを目的に、平成30年4月マーメット准教授就任。平成29年11月教員審査済。
- ・英語教育を強化することを目的に、平成30年4月藤原講師就任。平成29年11月教員審査済。
- ・英語教育を強化することを目的に、平成30年4月和田准教授の担当科目を追加。平成29年11月教員審査済。
- ・平成29年9月藤枝准教授辞任により、平成30年4月大蔵講師就任。平成29年11月教員審査済。
- ・兼任講師の辞任に伴い、白鳥講師を久保田講師に変更。
- ・兼任講師を人間健康学部専任教員に採用したことに伴い、山崎兼任講師を兼任の教授に変更。
- ・英語教育を強化することを目的に、兼任講師として金子講師を採用。
- ・英語教育を強化することを目的に、兼任講師としてルジチカ講師を採用。
- ・英語教育を強化することを目的に、兼任講師として櫻井講師を採用。
- ・英語教育を強化することを目的に、兼任講師として勝山講師を採用。

【令和元年度】

- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、川島教授の担当科目「発達心理学(初等)」を「発達心理学(初中等)」に、「生徒指導・進路指導(初等)」を「生徒指導・進路指導(初中等)」に、「教育相談(初等)」を「教育相談(初中等)」に、「教職実践演習(初等)」を「教職実践演習(初中等)」に名称を変更。平成30年11月教員審査済。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、増田教授の担当科目「教職実践演習(初等)」を「教職実践演習(初中等)」に名称を変更。平成30年11月教員審査済。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、今泉教授の担当科目「教職論(初等)」を「教職論(初中等)」に名称を変更。平成30年11月教員審査済。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、守教授の担当科目「教育心理学(初等)」を「教育心理学(初中等)」に名称を変更。平成30年11月教員審査済。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、羽田教授の担当科目「教育方法論(初等)」を「教育方法論(初中等)」に名称を変更。平成30年11月教員審査済。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、岸田教授の担当科目「特別活動指導論(初等)」を「特別活動指導論(初中等)」に、「生徒指導・進路指導(初等)」を「生徒指導・進路指導(初中等)」に、「教育相談(初等)」を「教育相談(初中等)」に名称を変更。平成30年11月教員審査済。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、岸田教授の担当科目に「中等教育実習事前・事後指導」及び「中等教育実習Ⅰ」を追加。平成30年11月教員審査済。
- ・平成31年3月武者教授辞任により、兼任講師に変更。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、武者兼任講師の担当科目「教育制度論(初等)」を「教育制度論(初中等)」に、「学校経営(初等)」を「学校経営(初中等)」に、「教育課程総論(初等)」を「教育課程総論(初中等)」に名称を変更。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、征矢野准教授の担当科目「道德教育指導論(初等)」を「道德教育指導論(初中等)」に名称を変更。平成30年11月教員審査済。
- ・教育職員免許法施行規則の改正に伴い、澤村准教授の担当科目に「総合的な学習の指導法(初中等)」を追加。平成30年11月教員審査済。
- ・教育職員免許法施行規則の改正に伴い、秋田准教授の担当科目に「総合的な学習の指導法(初中等)」を追加。平成30年11月教員審査済。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、國府田准教授の担当科目「教職実践演習(初等)」を「教職実践演習(初中等)」に名称を変更。平成30年11月教員審査済。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、和田准教授の担当科目に「中等教育実習事前・事後指導」及び「中等教育実習Ⅰ」を追加。平成30年11月教員審査済。
- ・課程認定委員会における指摘事項への対応により、藤原講師の担当科目に「中等教育実習事前・事後指導」及び「中等教育実習Ⅰ」、「中等教育実習Ⅱ」を追加。平成31年1月教員審査済。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、大蔵講師の担当科目「教育基礎論(初等)」を「教育基礎論(初中等)」に、「教育史(初等)」を「教育史(初中等)」に名称を変更。平成31年1月教員審査済。
- ・兼任講師の定年退職に伴い、進藤教授を青木教授に変更。
- ・兼任教員の昇進により、田邊講師が准教授に昇進。
- ・兼任講師の辞任に伴い、稲増講師を櫻井講師に変更し、担当科目「TOEICⅠ」及び「TOEICⅡ」を、櫻井講師の担当科目に追加。
- ・兼任講師の辞任に伴い、久保田講師を耳塚講師に変更。
- ・兼任講師の定年退職に伴い、水橋講師を、兼任教員として人間健康学部専任教員、丸山准教授に変更。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、山崎教授の担当科目「教育基礎論(初等)」を「教育基礎論(初中等)」に、「教育課程総論(初等)」を「教育課程総論(初中等)」に名称を変更。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、狩野講師の担当科目「教育方法論(初等)」を「教育方法論(初中等)」に名称を変更。
- ・学生がより体系的に学べるようにすることを目的に、安達講師の担当科目「教育方法論(初等)」を「教育方法論(初中等)」に名称を変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
9	7	2	0	18	9	7	5	0	21
( 9 )	( 7 )	( 2 )	( 0 )	( 18 )					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
9	7	5	0	21	10	6	6	0	22
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ 4 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	6 名	8 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{18} = \boxed{116.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{6}{21} = \boxed{28.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	准教授	藤枝 充子	H29.9	選択	子どもの育ちと教育	①	H29.9.30付け他大学への移籍のため辞任 (30)					
				選択	地域課題研究	①						
				選択	学校ボランティア活動	①						
				必修	教育基礎論（初等）	①						
				選択	教育史（初等）	①						
				選択	教育史研究	①						
				必修	介護体験入門	①						
				選択	地域学校教育活動	①						
				必修	基礎ゼミナールⅠ	①						
				必修	基礎ゼミナールⅡ	①						
				必修	教職入門ゼミナール	①						
				必修	教職研究基礎ゼミナール	①						
				必修	教職研究ゼミナール	①						
2	教授	武者 一弘	H31.3	必修	教育制度論（初等）	②	H31.3.31付け他大学への移籍のため辞任 (元)					
				選択	学校経営（初等）	②						
				必修	教育課程総論（初等）	②						
				選択	教育制度研究	②						
				選択	義務教育の未来を考える	②						
				必修	基礎ゼミナールⅠ	①						
				必修	基礎ゼミナールⅡ	①						
				必修	教職入門ゼミナール	①						
				必修	教職研究基礎ゼミナール	①						
				必修	教職研究ゼミナール	①						
				必修	卒業研究専門ゼミナール（卒業研究含む）	①						
				合計 (F)								
				辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	16	科目	必修	14	科目					
		選択	9	科目	選択	6	科目					
		自由	0	科目	自由	0	科目					
		計	25	科目	計	20	科目					

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)										
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
2	人	必修	16	科目	必修	14	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	6	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	25	科目	計	20	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{18} = \boxed{11.1} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>平成29年4月に着任した専任教員のうち准教授1名が、親の介護が必要となったことから、急遽辞任した。やむを得ない理由と考えられ、本学としても承諾せざるを得なかったため、直ちに後任補充を行なった。</p> <p>辞任した准教授が担当予定であった「地域課題研究」は開講しなかった。本科目は1年次開講科目であるが、選択科目であり、後任の専任教員(講師)により平成31年度に開講予定である。学生にはオリエンテーションの機会に3年次または4年次に履修が可能であることを周知しており、学生への影響は少ないと考えている。</p> <p>平成29年4月に着任した専任教員のうち教授1名が、配偶者の生活支援の必要から辞任した。単身で赴任し、週末に帰省して支援を行っていたが、状況の変化により、週末に帰省するのみでは困難な状態との申し出であり、やむを得ない理由と考えられ、承諾した。</p> <p>辞任した教授が担当予定であった「基礎ゼミナールⅠ」、「基礎ゼミナールⅡ」、「教職入門ゼミナール」、「教職研究基礎ゼミナール」、「教職研究ゼミナール」、「卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)」は他の専任教員に振り分けて担当。その他の担当科目は兼任教員として予定通り開講したため、学生への影響はないと考えている。</p> <p>今後については、同分野での専任補充を予定しており、平成31年3月に「専任教員採用等設置計画変更書(AC教員審査)」を提出している。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画		
認 可 時  (28年)	1. 「発達障害児・者の支援と教育」において重度・重複障害の内容を行うことが示されたが、発達障害と重度・重複障害は異なる領域であるため、授業科目の概要を修正するとともに、科目名称を適切に改めること。	留意事項	当該科目については、名称を「発達障害児・者等の支援と教育」に改め、併せて科目の概要を修正した。「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、平成28年11月のAC教員審査において可の判定を得た。(29)	履行済	該当なし
	2. 教員の補充を必要とされた5授業科目については、科目開講時まで教員を充足すること。	留意事項	当該5授業科目については、それぞれ専任教員を補充した。「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、平成28年11月のAC教員審査において可の判定を得た。(29)	履行済	該当なし
	3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度を見据え、適切な教員組織編成となるよう計画的に教員を採用するための検討を進めている。「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、平成28年11月のAC教員審査において可の判定を得て、新たに専任教員1名(37歳、講師)を採用した。(29)	履行済	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時  (29年)	教育学部学校教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	完成年度を見据え、適切な教員組織編成となるよう計画的に教員を採用するための検討を継続的に進めている。英語教育の強化とあわせ平成29年11月のAC教員審査において可の判定を得て、平成30年4月より新たに専任教員3名(教授:59歳、准教授:51歳、講師:37歳)を採用した。また、辞任した専任教員(准教授:46歳)の後任として専任教員(講師:34歳)を補充した。(30)	履行済	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時  (30年)	該当なし				

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<教育学部 学校教育学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 該当なし	① 学生の福利厚生を拡充を目的として、3階建ての9号館を新たに建設した。1階をCOMMONルームとして学生の学習スペースを確保、2階は手狭となっていた学生食堂及び厨房を整備した。 また、3階には研究室7室及び演習室2室（各35.70㎡）を配置した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 別紙1（37ページ）のとおり  b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員6名及び職員5名 ・ メールを利用した委員会を随時開催。  c 委員会の審議事項等 ・ 自己点検・評価報告書について ・ 授業評価アンケートの実施について ・ 授業中間アンケートの実施について ・ 授業参観の実施について ・ 卒業生アンケートの実施について ・ FD・SD活動について 等  ② 実施状況 a 実施内容 ・ 授業評価アンケート ・ 授業中間アンケート ・ 教員相互による授業参観 ・ 新任教員のための研修会 ・ 時事問題研修会 ・ FD講演会
--

b 実施方法

- ・ 前期、後期の終わりに学生による授業評価アンケートを実施。アンケート結果を基に「授業改善計画」を策定し、報告書を作成。
- ・ 前期、後期において授業全期間を対象とし、教員相互による授業参観を実施。感想、意見等をアンケートとして提出。
- ・ 外部講師を招聘し、講演会形式の研修会を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業評価アンケートは、専任教員においては前・後期各2科目程度、非常勤講師の全科目について実施。
- ・ 専任教員による授業参観後のアンケート提出状況は、前期では25.6%（86名中22名提出）、後期は18.6%（86名中16名提出）。
- ・ 平成30年9月4日（火）「わが国における高等教育のグローバル化」と題した講演会を実施し、59名出席。
- ・ 平成30年9月11日（火）「私立大学等改革総合支援事業について」と題した研修を実施し、78名出席。
- ・ 平成30年9月に開催の各学部定例教授会内で、「3ポリシーとアセスメント・ポリシーの理解」と題した研修会を実施し、各学部教授会構成員全員出席。
- ・ 平成30年10月6日（土）「欧州の教育改革と日本～我が国におけるディプロマ・サプリメントの役割」と題した研修を実施し、23名出席。
- ・ 平成30年10月31日（水）「認証評価に向け、受審のポイント、重要な変更点」と題した研修を実施し、87名出席。
- ・ 平成30年12月4日（火）「学生募集に関する高校の進路指導状況について」と題した研修を実施し、64名出席。
- ・ 平成30年12月5日（水）「アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価の実施について」、  
「2019年度シラバス作成について」、  
「ICTを活用したアクティブラーニング」について研修を実施し、87名出席。
- ・ 平成31年3月7日（木）「高大接続改革の現状と課題」と題した研修を実施し、60名出席。
- ・ 新任教員研修については、対象学部長に依頼し、実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ アンケート結果を基に「授業改善計画」を策定するとともに、授業評価報告会による結果に対する議論の実施。
- ・ 学生の意見をもとにした改善への意識をもっと高めるような仕向けが必要。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 年2回、前期、後期の終わりに学生による授業評価アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ データ読み取りシステムを導入し、専任教員は生データにアクセスできるようになり、データ分析も容易になった。
- ・ 集計結果は、システム上で確認できるとともに、報告書としてとりまとめ、各教員へ配付。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2（38ページ）のとおり

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和元年9月1日 公表予定

###### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、全教員に配付、学生が閲覧できるよう学生センターや図書館に配置。
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和元年8月末を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年度に機関別認証評価を財団法人日本高等教育評価機構にて受審し、平成22年3月に「適合」と認定。
- ・平成27年度に機関別認証評価を財団法人日本高等教育評価機構にて受審し、平成28年3月に「適合」と認定。
- ・令和4年度に機関別認証評価を財団法人日本高等教育評価機構にて受審を予定し、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令 和 元 年 6 月 1 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。



## 松本大学FD・SD委員会規程

松本大学規程第07-003号

平成19年 4月 1日

(目的)

第1条 本学における教育理念及び教育目標の達成に向けての教育活動の質的向上を図ることを目的とし、これに全学的かつ組織的・継続的に取り組むために、本学にFD・SD委員会を置く。

(管掌事項)

第2条 FD・SD委員会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事項を管掌する。

- (1) FD・SDに関する年度計画の推進及び次年度計画の提案
- (2) 教育の質的向上に関する施策の企画・立案及び実施
- (3) 教職員の能力向上に関する事項
- (4) FD・SDに関する啓発活動
- (5) その他、FD・SDの推進に関する事項

(組織)

第3条 FD・SD委員会は、次に掲げる者で組織する。

- (1) 学長
- (2) 研究科及び各学部から各1名以上
- (3) 事務局長
- (4) 管理課長
- (5) 教務課長
- (6) その他、必要に応じて学長が委嘱する者

(委員長等)

第4条 委員長は学長が委嘱した者とする。

- 2 委員長はFD・SD委員会を招集し、議長を務めることとする。
- 3 委員長が必要と認めたときは、その指名により副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(任期)

第5条 FD・SD委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

- 2 欠員が生じた場合は、後任の任期は前任者の残任期間とする。

(委員以外の出席)

第6条 FD・SD委員会は、必要に応じてFD・SD委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 FD・SD委員会の事務は、管理課及び教務課が担当する。

(補足)

第8条 この規程に定めるもののほか、FD・SD委員会に関し必要な事項は、FD・SD委員会が定める。

附 則

- 1 この規程は、平成19年 4月 1日から施行する。
- 2 この規程は、平成26年 4月 1日から施行する。
- 3 この規程は、平成30年 4月 1日から施行する。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括的評価・所見

##### [教員組織]

平成 30 年度においては、平成 29 年 9 月に専任教員 1 名が辞任したことに伴う後任補充及び英語教育の強化のため、新たに 4 名の専任教員が着任し、合計 22 名の充実した教員組織を整備した。

平成 31 年 3 月末日付けで、専任教員 1 名が家庭の事情によるやむを得ない理由から辞任したことを受け、現在後任補充の具体的手続きを進めている。

引き続き、完成年度を見据えて計画的に教員組織の整備を進める。

##### [学生の支援体制]

###### ・学校ボランティア活動、学校インターンシップ

1 年後期の「学校ボランティア活動」は、昨年の反省を活かし、受け入れ先の小学校との連携を密にしたことで、学生・現場双方から特に問題を指摘されることなく実施することができた。また、2 年後期の「学校インターンシップ」もスムーズに開講することができた。「学校インターンシップ」は「学校ボランティア活動」と比べ、より深く授業にも関わっていくことから、学生の責任感の醸成、教員としての意識付けを行う上で効果の高いものとなった。これらの体験から得たものを、3 年次の「初等教育実習」へつなげていく。

###### ・教員採用試験対策

教員採用試験の受験を希望する学生が多いことから、平成 30 年度も「マツダイモン」として教育学部の全学生に採用試験を想定した模擬試験を実施した。年 2 回実施し、受験後はすべての学生にフィードバックを行い、理解をより深めるための解説講座も実施した。学生が早期に自分の課題を知ることで余裕を持って対策できるようになることを目指している。

###### ・フレッシュマンセミナー

初年次教育の一環として、学生同士や学生と教職員の親睦を兼ねた一泊二日の「フレッシュマンセミナー」を平成 30 年度も実施した。今年度からはさらに、学生の主体性を養い、自己理解・他者理解を深める活動とすることを目的に、新入生の「フレッシュマンセミナー」、2 年生は「キャリアアップセミナー」として、2 年生が運営の中心を担いつつ 1, 2 年生による実行委員会を組織し、合同研修として実施。新入生はもとより、2 年生にとっても「教える」経験を積む実践的な学びの機会とした。

##### [地域社会との連携]

###### ・教育相談・共同研究推進センター

学部が保有する教育分野の専門性を広く還元するためのセンターを平成 29 年度に設置した。学校や教育関連機関の教員に特化した「教師のための相談サポート」ページを公式 Web サイト内に開設し、継続的に広く募集している。

また、長野県教育委員会と連携し、長野県総合教育センターにおける各種研修に教育学部教員による松本大学連携講座を提供した他、教育委員会における各種委員会・協議会の委員を受諾する等、積極的に地域社会との連携を図っている。

- ・社会進出支援センター

特別支援学校教諭育成に関する医療・福祉関係者との協働を推進するための支援センターを平成 29 年度に設置した。平成 30 年度には障害者支援を専門とする職員 1 名を配置。地域の特別支援学校からの実習受入れ場所として農場及び作業場を整備し、1 名の特別支援学校高等部生徒を受入れた。

### [学科の将来を見据えた準備]

- ・英語課程の設置

平成 30 年度に「中学校教諭一種免許状（英語）」並びに「高等学校教諭一種免許状（英語）」の教職課程を設置した。2 期生から小学校教諭一種免許状と併せて副免許として取得できるようになり、2 期生 72 名のうち 47%にあたる 34 名が取得を希望した。なお、1 期生は特別支援学校教諭一種免許状を副免許として 57 名のうち 49%にあたる 28 名が取得を希望している。

- ・海外（英語圏）留学促進の取組み

海外に留学する心理的ハードルを下げ、留学に関心を持つ学生の増加を狙い、国内で海外留学が体験できる施設「ブリティッシュ・ヒルズ（福島県）」での短期留学体験を平成 30 年度も継続して実施し、1 年生 16 名が参加した。

また、教育学部として連携したマルタ大学（マルタ共和国）での、約 1 ヶ月にわたる短期留学プログラムには 2 年生 10 名が参加し、語学研修及び現地小学校での授業体験を行った。

- ・English Café

大学全体の取組みとして、平成 30 年度から English Café を講義期間中の週 3 日、定期的かつ継続的に実施することとし、年間で 80 回実施、延べ参加者数は 315 名であった。そのうち 23%を教育学部生が占めた。学生の満足度は高く、多くの学生が集まるようになってきたため、今後実施体制の充実を図る方策を検討する。

### [学生募集状況]

平成 30 年度入学生は、開設初年度を上回ったものの、2 年連続定員割れという結果を受け、今年度も長野県内の高等学校を中心に精力的に高校訪問を行うと同時に、高校生を対象とした進学説明会には広域にわたり積極的に参加した。特に、高校訪問については、教育学部教員を同行しての訪問を行い、入試情報だけでなく、教育学部の理念や人材育成について理解の促進を重視した。

また、教員や学生の活動がさらに活発となったため、地域と連携した諸活動等を、わかりやすくタイムリーにリリースし、本学ならではの教育手法や生き生きと学修する学生の姿を、受験生や保護者、高校の教員に丁寧に示しながら、その魅力を伝えていくため、「教育学部タイムズ」を季刊で発行し、機会あるごとに広く配布した。

その結果、志願者総数は開設初年度並みの 273 名となり、入学者は 95 名と、初めて入学定員を充足した。教育学部の活動の広がりによって認知度が広がったことから、推薦入試の志願者が増加するなど、本学を第一志望と考える受験生が増加しつつあると思われる。

今後も、教員養成系統の進学説明会においては、「教育学部の説明」だけでなく、教員への憧れや、やりがいを訴求することで、教員志望者の裾野を拓げる広報活動を継続的に展開する。

以上